

2021年度後期における「学生による授業評価アンケート」に対するコメント

2021年度後期における「学生による授業評価アンケート」の実施に際しましては、ご協力いただいた学生の皆様並びに非常勤講師の皆様、専任教員の皆様に感謝申し上げます。

2021年度後期は、緊急事態宣言が発出されるなかでのスタートとなりましたので、第1回の授業はほぼ全科目において遠隔授業となりました。しかし、その後は事態が好転し、後期における遠隔授業は第1回のみとなりましたので、比較的安定した状態で授業を行うことができました。また、コロナ禍における授業運営も2年目に突入しておりますので、学生も教員も適切に対応することができるようになってきているといえます。とはいっても、罹患した学生、あるいは濃厚接触者となった学生への対応等々と、複雑な個別対応が求められるようになったという新たな課題も生じてきております。しかしながら、大きな問題が発生することなく後期授業を無事に終えることができましたのは、ひとえに学生の皆様並びに非常勤講師の皆様、専任教員の皆様の並々ならぬ工夫と努力の賜物と存じます。感謝申し上げます。

さて、2021年度後期における「学生による授業評価アンケート」の全体の結果を概観していくことにいたします。まず回答率ですが、今期におきましても5割を切ってしまっております。FD・SD委員会においては、回答率を上げることを今期の目標の1つとして工夫をしてまいりましたが、回復させることはできませんでした。これは大きな反省点で、次年度以降の重要な課題として取組んでいくこととしております。

回答率が5割を切っていることから、結果の解釈には慎重であるべきことを踏まえて、以下に今年度後期における全体的な特徴を述べていくこととします。まずA領域の「あなた自身について」ですが、今年度前期並びに昨年度後期とほぼ同様の結果となりました。つまり、③の学習時間を除く、①から⑥すべての項目において「1そう思う」と「2ややそう思う」を合わせたポジティブな反応が6割以上となっておりました。「4あまりそう思わない」と「5そう思わない」を合わせたネガティブな反応は、すべて1割を切っていました。こうした結果から、学生の皆さんのが学修状況に対する認識としては、「授業の出席率は非常に高く、尚且つ、授業には積極的に参加したということ、そして、受講生の多くは授業で学修した領域をさらに深く学びたいと思うようになり、シラバスに掲げられている到達目標を達成できそうだと感じている」、こうしたことからか、授業全般に対する満足度も高いものになっていました。アンケート結果からはこのようなことが推測されます。

次に、B領域の「授業や教員の教え方について」ですが、この領域に関しても今年度前期並びに昨年度後期とほぼ同様の結果となりました。つまり、⑦から⑩のすべての項目において「1そう思う」と「2ややそう思う」を合わせたポジティブな反応が6割以上となっておりました。「4あまりそう思わない」と「5そう思わない」を合わせたネガティブな反応は、⑧「授業は質問や意見などを発言しやすい様子であった」に関しては12%でしたが、その他はすべて1割を切っていました。こうした結果から、学生の皆さんのが教員の授業の運営

の仕方や方法に対する認識としては、「教員は学習目標を伝え、個々の受講生の理解度にある程度気を配りながら、授業に集中できるようにある程度教室をコントロールし、質問にもある程度応じていた」、アンケート結果からはこのように認識していたことが推測されます。

本学における「学生による授業評価アンケート」結果は、コロナ禍以前からこうした傾向を示しており、継続することができております。アンケート結果をまとめると「授業中において、受講生は積極的に集中して取組み、到達目標を達成できそうな程度に学修できており、さらに学んでいきたいと思っている」、そして「教員は受講生が学習しやすい環境を整えている」、本学の学生はこのような認識を持っていることが推測されます。こうした結果は本学における教育の一つの特徴といえ、今後も継続、発展させていきたいと考えております。

しかし一方では、大きな課題が解決されないままにあることも示されております。それは、受講生の授業外における学修時間が伸びていかないということです。学修者本位の教育が展開されていくためには、なによりも受講生が授業時以外でも主体的に積極的に学修していく必要があります。したがいまして、我々教員に求められている重要な課題は授業時以外でも学生が主体的に学修していくことができるための授業作りと、そのための学生支援の在り方を検討していくことといえます。「with コロナ」という状況下における困難さがあるとはいっても、受講生との丁寧な対話を続けていくことによって、この課題の解決をめざしていくたいと考えております。また、FD・SD 委員会におきましては、2022 年度より、最重点課題としてこの難題に取り組んでいくことにしております。ご協力をお願いすることも多々あるかと存じますが、どうぞご理解いただきご協力賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

FD・SD 委員会委員長 須河内 貢

授業評価アンケート

2021年度 後期

授業コード：

授業科目名：全体

受講者数：13031名

担当教員名：

回答者数：6403名

学科	人間科学部 社会福祉学科	人間科学部 医療福祉学科 介護福祉専攻	人間科学部 医療福祉学科 視能訓練専攻	人間科学部 子ども教育学科	人間科学部 健康心理学科	人間科学部 医療心理学科 臨床発達心理専攻	人間科学部 医療心理学科 言語聴覚専攻	人間科学部 理学療法学科	心理学部 心理学科
	1228	185	457	982	400	171	68	85	846

学科	保健医療学部 理学療法学科	保健医療学部 作業療法学科	保健医療学部 言語聴覚学科	学年	1年次	2年次	3年次	4年次
					2974	2213	977	239

設問No	設問文	1 そう思う	2 やや そう思う	3 どちらでも ない	4 あまりそ う思わない	5 そ う 思わない	*全平均

A.あなた自身について

①	この授業への出席割合は 1.毎回 2.ほとんど 3.3分の2ぐらい 4.半分ぐらい 5.半分未満	3530	2201	544	56	41	4.43
②	授業に積極的に参加した	2700	2593	797	185	68	4.21
③	この授業1回あたりで予習や復習に費やした時間は 1.2時間以上 2.1時間以上~2時間未満 3.30分以上~1時間未満 4.30分未満 5.全くしていない	269	743	1841	1976	1527	2.41
④	授業を受けて、関連領域をさらに深く勉強したくなった	1977	2561	1317	317	189	3.91
⑤	シラバスで掲げられている到達目標を達成できそうだ	1663	2714	1597	274	120	3.87
⑥	この授業全般についてあなたは 1.満足である 2.やや満足である 3.どちらでもない 4.やや不満である 5.不満である	2449	2420	1191	185	115	4.09

B.授業や教員の教え方について

⑦	学生が集中しやすい授業だった	2744	2143	1115	234	132	4.12
⑧	授業は質問や意見などを発言しやすい様子であった	1931	1878	1769	518	268	3.74
⑨	学生の理解度を確認しながら授業が行われていた	2194	2211	1405	356	198	3.92
⑩	授業の学習目標を学生に伝えていた	2612	2237	1226	174	110	4.11

